

しゅっぱつしんこう

～あかちゃんえほんのたび 0・1・2～



いない いない ばあ

松谷 みよ子 ぶん／瀬川 康男 え
(童心社)

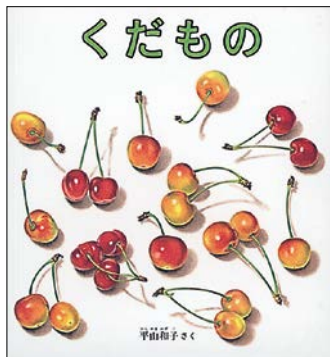


「いない、いない、ばあ」は、幼い子が誰でも喜んでする遊びです。それが絵本になりました。ページをめくる本の特性をうまくいかして、「いない、いない、ばあ」を楽しめます。また、登場する動物たちの表情の豊かなこと！

このシリーズには、この本のほかにも、「のせて、のせて」や「おふろでちゃぷちゃぷ」など、遊びながら楽しめる本がいくつもあります。

くだもの

平山 和子 さく
(福音館書店)



すいか、もも、ぶどう…絵本の中にはおいしいくだものがいっぱいです。さあ、どうぞ！本物と同じはっきりした絵柄で、皮をむいた状態もきちんと描かれていて、長い間子どもたちに愛されてきたのがよくわかる絵本です。

同じ幼児絵本シリーズには「いちご」「やさい」「おにぎり」など、身近な題材を扱った絵本があります。

どうぶつのおやこ

藪内 正幸 画
(福音館書店)



身近な動物や動物園にいる動物など、図鑑のように手抜きのないタッチで描かれています。字のない絵本ですが、よく書き込まれた絵の良さが伝わってきて、いろいろなストーリーを赤ちゃんに語ってあげられます。

親子の間に通い合う愛情や信頼を、彷彿とさせてくれる一冊です。

がたんごとん がたんごとん

安西 水丸 さく
(福音館書店)



赤ちゃんが、いつも使ったり、飲んだり、食べたりしているものが、4連結の汽車に乗ります。がたんごとんの響きに乗って、どこまで行くのかな？ 終点でみんな降りると、楽しいおやつタイムです。

がたんごとんと繰り返しが心地良くて、赤ちゃんがある日突然、「がちゃんごちゃん」とおしゃべりを始めるかもしれません。

くっついた

三浦 太郎 作
(こぐま社)



「きんぎょさんときんぎょさんがくっついた」どのページも「くっついた」の繰り返し。それが、なぜかとてもあたたかい気持ちになり、おはなし会での読み聞かせでも喜ばれている絵本です。

この絵本は著者のデビュー作で、2冊目の絵本「なーらんだ」も出ています。

ぴょーん

まつおか たつひで 作
(ポプラ社)



ページをめくると、いろいろな動物がピョーンと飛び上がります。ピョーンと飛び上がる開放感が伝わってきます。飛び上がる動物たちのユーモラスな姿におもわずほほえんでしまいます。

読んでもらった子どもも、読み手のあなたも、ピョーンと飛び上がってみたいくなる、そんな絵本です。

おててがでたよ

林 明子 さく
(福音館書店)



赤い布をかぶったあかちゃんが、おてて、あたま、おかおと順番に出してゆき、大きな服を着ます。やったあ！着られたときの満足そうな顔・・・

「くつくつあるけのほん」の第2巻です。ほかに「くつくつあるけ」「きゅっきゅっきゅっ」「おつきさまこんばんは」の3冊があります。どの本も、あかちゃんの色をひくはっきりとした色あいです。

ぶーぶーじどうしゃ

(0.1.2.えほん)

山本 忠敬 さく
(福音館書店)

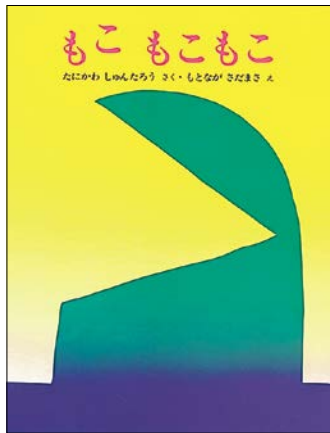


男の子が大好きな自動車がたくさん出てきます。コンビカーに乗った男の子がいろいろな車を案内してくれます。この子の大きさと比較すると実物の車の大きさがよくわかって、おもしろいですよ。ちょっぴり知識が入っています。

車に興味を持ち始めた子にぴったりの絵本です。

もこもこもこ

たにかわ しゅんたろう さく／もとなが さだまさ え
(文研出版)



「しーん」としたところから「もこ」と何かが出てきました。「もこもこもこ」と大きくなっていきます…。

ことばのおもしろさと絵のおもしろさで、子どもたちに人気のある絵本です。

同じ画家でこのほかにも「カニツンツン」「もけらもけら」などの楽しい絵本があります。

にんじん

(いやだいやだの絵本)

せな けいこ さく／え
(福音館書店)



「にんじんすきなこだあれ」動物たちがおいしそうににんじんを食べています。この絵本を見てにんじんを食べたいと思う子も多いことでしょう。このほかに「もじゃもじゃ」「いやだいやだ」「ねないこだれた」があります。どの本も大好きな子たちがたくさんいますよ。この本を読んでもらって育った人も親になっているかな？

ととけっこう よがあげた

こばやし えみこ・案／ましま せつこ・絵
(こぐま社)



「ととけっこう よがあげた まめでっ
ぽうおきてきな」おかあさんのやさしい
声で、ひよこ・こねこ・こぶた…動物の
子どもたちが目をさまします。

わらべうたは、親子の関係をあたたか
いものにする力を持っているようです。
同じシリーズでこの絵本のほかに「まて
まてまて」「ちびすけどっこい」などがあ
ります。

おやすみなさいのほん

マーガレット・ワイズ・ブラウン ぶん/ジャン・シャロー え
いしい ももこ やく (福音館書店)



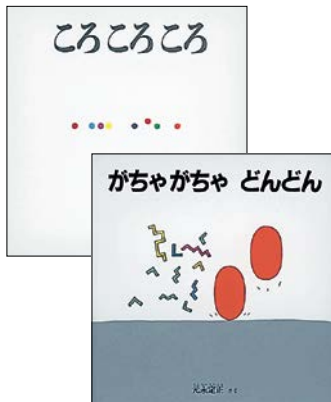
おひさまが沈み、外が暗くなると、小鳥も魚も羊も眠りにつきます。ふねも、車も飛行機もエンジンを止めます。

静かな夜がやってきて、子どもたちは安らかな眠りに落ちて行きます。

おやすみ前の落ち着いたひとときを、子ども達と一緒に過ごしてください。

「がちゃがちゃ どんどん」 「ころころころ」

元永 定正 さく
(福音館書店)



赤ちゃんは、リズムカルで心に響いてくる繰り返しの音が大好きです。

がちゃがちゃ どん どん かーん かーん ちん ちん りん りん どさん…などの楽しい擬声語に、いろいろな色といろいろな形がくっついています。

ころころころころころころ…いろいろな所を小さい丸がころがります。

絵本の中の色や形に合わせて読んであげましょう。

こんにちは

(くまくんの絵本)

わたなべ しげお ぶん／おおとも やすお え
(福音館書店)



おはなやとり、ねこ、いぬなどに「こんにちは」と言って歩くくまくん。最後には、パパにあいさつをして抱き上げてもらうと、とてもうれしそう。このほかに、パパが登場するくまくんの絵本「おふろだ、おふろだ!」「おとうさんあそぼう」があります。おとうさんも是非、絵本を読んであげてくださいね。

おんなじ おんなじ

多田 ヒロシ 作
(こぐま社)



「おんなじ」ということは、幼い子にとって、とてもうれしいものです。お友達のぶうとびよんは、くつも帽子もおもちやも同じです。でも、ちがうものもあります。ちがうものは何か？

白地に黒の線で輪郭がはっきり描かれていて、みやすく、また、幼い子の心理をよくとらえていて、子どもたちに人気のある本です。

でてこい でてこい

はやし あきこ さく
(福音館書店)



「でてこい でてこい」と呼びかけてページをめくると、カエルやうさぎなど幼い子にもおなじみの動物があらわれます。呼びかけのことばが調子よく、「何がでてくるのかな」という期待で読み進めます。

デザイン化された動物が、白い余白に、緑、赤、青で描かれた美しい本です。

なーんだなんだ

(とことこえほん)

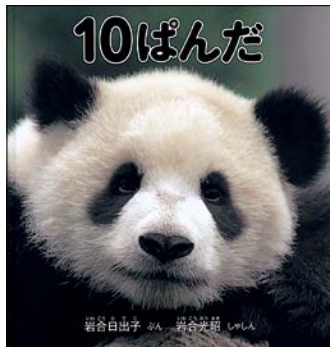
カズコ G・ストーン さく
(童心社)



タイトルの「なーんだなんだ」の繰り返し楽しく、赤、黒、白のコントラストがおしゃれな絵本です。後の方で出てくる子パンダがとてもかわいい!! とことこえほんシリーズの1冊。ほかに「このおとだれだ?」「こわくないこわくない」「はいぞブンブン」「むしさんどこいくの?」などがあります。

10 ぱんだ

岩合 日出子 ぶん／岩合 光昭 しゃしん
(福音館書店)



「らくらく きのぼり 1ぱんだ」「のはらで のんびり 2ぱんだ」リズム感あふれる文とともに、ページをめくるごとに一頭ずつふえていく愛らしいぱんだ。

その自然な姿に大人も魅了されます。

どんどこももんちゃん

とよた かずひこ 作
(童心社)

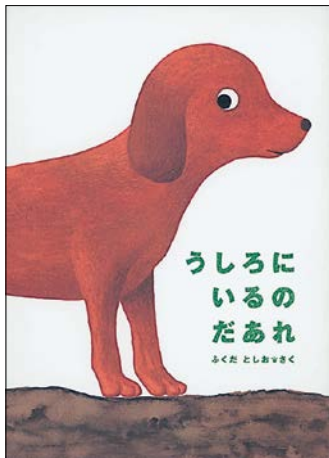


どんどこどんどこ ももんちゃんがいそいでいます。川をわたり、山をのぼり、くまさんも おしのけて。ももんちゃんが行こうとしているところがどこかわかったら、きっと親子で安心できることでしょう。

「ももんちゃん」のシリーズはこのほかに「ももんちゃん えーんえーん」など11冊出ています。

うしろにいるのだあれ

accototo著 (ふくだ としお+あきこ)
(幻冬舎)



ぼくのうしろにいるのだあれ・かめくん・かめくんのうしろにいるのだあれ…
うしろにいる動物を親子であてながら楽しんで読める絵本です。

「うしろにいるのだあれ」のシリーズにはこのほかに「のはらのともだち」「みずべのなかま」「うみのなかまたち」があります。

ちいさなうさこちゃん

ディック・ブルーナー ぶん／え
いしい ももこ やく (福音館書店)

うさこちゃん誕生のお話です。

ふわふわさんやふわおくさんの愛情に包まれて幸せそうなうさこちゃんに読者の心もなごみます。ブルーナーの「子どもがはじめてであう絵本」の第一作目。単純で輪郭のはっきりした絵は幼い子にも見やすいものです。この本を手始めに、お気に入りを探してください。



タンタンのぼうし

いわむら かずお 作
(偕成社)



おさるのタンタンは素敵なぼうしを持っています。エイッと投げると、必ず何かを捕まえてタンタンの頭にもどってくるのです。タンタンの表情がなんとも可愛く、いつしか、わが子と重なります。ほかにも「タンタンのハンカチ」など、タンタンを主人公にした本がありますので、そちらもご覧ください。

しろくまちゃんのほっとけーき

(こぐまちゃんえほん)

わかやま けん 作
(こぐま社)



しろくまちゃんがほっとけーきを作ります。ぽたあん・ぷつぷつ・やけたかな・まあだまあだ・しゅっ・ぺたん・ふくふく・くんくん・ぽいつ・はいできあがり。おいしそうなおいまでしてきます。このほかに「こぐまちゃんおはよう」「こぐまちゃんありがとう」が同じシリーズにあります。

身近な題材の絵本は、人気があります。

たまごのあかちゃん

(福音館の幼児絵本シリーズ)

かんざわ としこ ぶん/やぎゅう げんいちろう え
(福音館書店)



たまごのなかでかくれんぼしているのはだあれ？ まだ見たこともない生き物が登場します。くっきりした絵がとても楽しくて、自然にたまごから生まれる不思議を考えさせてくれます。「こんにちは」と絵に出て来るかわいらしい赤ちゃんたち。

大きくなって動物園に行った時、親子でこの絵本を思い出してください。

あいうえおはよう

にしまき かやこ 作
(こぐま社)



めずらしい刺繍の絵本。布の温かみが伝わってきます。三つ子のこぶたと一緒に五十音の言葉遊びをリズムに乗せて楽しみましょう！

同じ三つ子のこぶたが登場する「ぼくたち1ばんすきなもの」も刺繍の絵本です。

ゆったり、のんびり、あかちゃんとの時間を楽しむのに良い絵本です。

あかちゃんとおそぶ絵本

全4冊

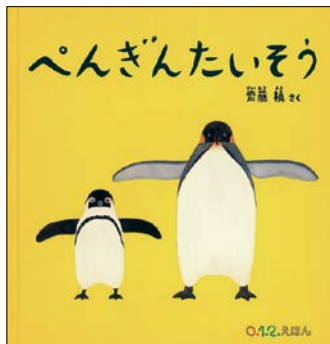
角田 巖 ぶん／角田 昭子 え
(文化出版局)



開いたり閉じたりする単純なしかけ絵本です。問いかけがあって、折ってあるページを開けると答えの文と絵が表われます。シリーズの一冊「あけてみたいな」では、「あけてみたいなかがみ」と問いかけ、開くとかがみに映っているぼくが描かれています。ぼくは「ぎんぎんきらきらおほしさま」と両手を上げています。ページの下段には、赤ちゃんとおそぶを使って遊ぶ動作も書いてあります。絵本で遊び、体でも遊べます。

ペンギんたいそう

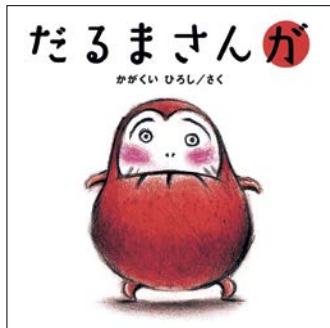
齋藤 楨 さく
(福音館書店)



2ひきのペンギんが首を伸ばして、腕を振って、じゃーんぷ！ペンギんの動きにあわせて、子どもと一緒に体操してみましよう。ぱたぱた、ぴったんこ、いろんな動きを楽しんでね。

だるまさんが

かがくい ひろし さく
(ブロンズ新社)



ころんだり、つぶれたり、からだが伸びたりする、だるまさん。見ている子も自然と「だるまさんが」のリズムに合わせて、からだを動かしたくなる絵本です。

シリーズに「だるまさんの」「だるまさんと」の2冊があります。

子育てに生かせるわらべうた

子育てにはふれあいが欠かせません。

ふれあいの1つに「わらべうた」があります。

ぜひ赤ちゃんに聞かせてあげましょう！



「わらべうた」で子育て 入門編

安部 ヤエ 著
(福音館書店)



あまりにもピッタリですばらしいコメントがカバーに載っています。そのまま紹介します。

『どんな育児書よりも、まっとうで、わかりやすい、子育ての道しるべが、ここにある。』

目が見えはじめた赤ちゃんと正面から向き合って、目を見つめて、声をかける。そこから、「わらべうた子育て」は始まります。

おむつを替えるとき、あやすとき、しかるとき、寝かせるとき…、子どもと暮らすあらゆる場面に「わらべうた」が登場！「わらべうた」は、子どもと大人を楽しくつなげてくれる魔法のことばです。』

あかちゃんとお母さんの あそびうたえほん

小林 衛己子 編／大島 妙子 絵
(のら書店)

昔からのわらべうたやあそびうたに、動作の絵がついています。うたに合わせて赤ちゃんに触れ合って遊びましょう。時には、絵本として読み聞かせをするように絵を見せてうたってあげても良いです。

おつむ てんてん みみ ひこひこ

(遊び方)

おつむ てんてん 両手で頭を軽く3回たたく
みみ ひこひこ 両耳を軽く3回ひっぱる



みんなであそぶわらべうた

近藤 信子 編・遊び方指導／梶山 俊夫 絵
(福音館書店)



古き良き時代を思わせるわらべうたが取り上げられています。

わらべうたは、好きな節で歌ってあげて良いのですが、この本には楽譜も載っています。わらべうたを表現する子どもたちの姿が生き生きと描かれているので、この絵本も読み聞かせをして楽しむことができます。

世田谷区立図書館

広報印刷物登録番号 No.382



2023年11月発行

